

第2次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

基本目標1: 家庭、地域、学校などにおける子どもの読書活動の推進

資料2

【事業評価】	【事業方針】		
◎	計画どおり実施されている	継続	現行どおり、事業を継続する
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実	事業の充実、強化を図る
△	大幅に計画から遅れている	改善	事業の見直し、改善を図る
×	未実施	縮小	事業の規模を縮小する
		廃止	事業を廃止する

1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
記入例	乳幼児期に初めて本と触れあうきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート*1」などの事業を行います。	12	中央図書館	△	ブックスタートの参加者は、H30年度377人、R1年度351人、R2年度313人、R3年度301人と新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり配布を中止するなど、配布数は減少傾向にある。	継続	従来通り健診時に案内チラシを渡し、図書館カウンターでパックを渡す。ブックスタートを広く知ってもらうため関係施設へポスターを配布するなど広報活動を強化する。
1	乳幼児期に初めて本と触れあうきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート*1」などの事業を行います。	12	健康推進課 中央図書館	△	ブックスタートの参加者は、H30年度377人、R1年度351人、R2年度313人、R3年度301人と新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり配布を中止するなど、配布数は減少傾向にある。配布率はH30年度53.32%、R1年度53.75%、R2年度52.34%、R3年度52.62%、(図)感染対策を行いながら、乳幼児健診を実施しており、ブックスタートの案内チラシを配布(3か月・10か月・1歳6か月児健診)している。(健)	継続	従来通り健診時に案内チラシを渡し、図書館カウンターでパックを渡す。ブックスタートパックを知ってもらうためにポスターを貼るなど広報活動を強化する。配布率は出生数に対して6割程度への増加を目指す。
2	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	12	中央図書館	◎	「2～3歳向けおすすめ本」等4種類の年齢に応じたおすすめ本のリストを書架に設置し利用者が自由に手に取れるようにした。R3年度に幼児向け(4歳、5歳)を作成した。また赤ちゃん向けのおすすめ本のコーナーを設けている。	縮小	第2次でリストを作成し、目標達成したのでリストに掲載されている図書が絶版になっていないかの確認等、更新を行い、PRしていく。
3	ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	12	中央図書館	◎	通常、団体用利用カードの貸出期間は30日だが、読み聞かせボランティアへは期間60日として貸出しをしている。R3年度は12団体に年間765冊貸出した。(R1年度341冊、R2年度280冊、)	継続	これからもボランティア団体への貸出を促していく。

2 中央図書館における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	専門的視点で司書が選定した良質な図書の収集を続けます。	12	中央図書館	◎	児童図書を継続して購入した。評価の定まったロングセラーの本等を収集し児童図書資料の全体の質を保った。R3年度の小学生までの貸出冊数は142,848冊。(R1年度123,859冊、R2年度96,750冊)	継続	今後も、良質な図書館資料の収集に努める。
2	本を探している子ども(保護者含む。)に司書から主体的に声をかけ、児童書のレファレンスサービス*2を強化します。	13	中央図書館	◎	学校連携司書が図書館で勤務している夏休み期間等で声かけができた。(R3年度43件)	廃止	学校連携司書の勤務体制が変わり、中央図書館での勤務時間が減少したため、声かけの実施は困難。
3	子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。			◎	貸出状況を見て貸出の多いテーマの企画を行ったり、クリスマスなどの季節に応じた企画を行ったりと利用者のニーズを考えて年間を通して企画展示を行った。(R3年度テーマ展示回数15回)	継続	今後も魅力的なテーマの企画展示を行っていく。
4	読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、連携します。			◎	R1年度に読み聞かせ・修理ボランティア増員を図り、養成講座を開講した。修理講座受講後の新人ボランティアはスキルアップのためベテランのボランティアと二人組になって活動するよう日程等調整した。読み聞かせ講座を受講したボランティアはR3に新しくグループを結成した。(R1年度末時点73人、R2末82人、R3末89人登録。)	継続	今後もボランティアの増員、また既に活動しているボランティアの育成も行っていく。
5	おはなし会の開催日数を増やし、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。			△	新型コロナウイルス感染拡大防止のためR2年度は全てのおはなし会を中止したが、R3年度は10月と11月におはなし会のイベントを開催した。以降は状況を見ながら徐々に再開していき、年間7回のおはなし会を実施した。	継続	状況を見ながら、全てのおはなし会を再開し、R3年度に結成された新ボランティアグループのおはなし会も開催できるよう調整していく。

3 児童館などにおける子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。団体貸出未実施の長久手西児童館、長久手市青少年児童センターへの提供を開始します。	14	子ども未来課 中央図書館	◎	長久手西児童館及び長久手市青少年児童センターでも提供開始済み。(未来)	継続	今後も中央図書館の本を貸出し、児童が触れられる図書の充実を図る。
2	読み聞かせに適した絵本を提供し、ボランティアによる児童館での読み聞かせをする体制を整えます。			×	中央図書館にてボランティア派遣体制を整備中。(未来)	廃止	現在の職員体制では実現が難しいため。上記3の1の団体貸出で読み聞かせに適した絵本の提供を推進する。

4 保育園・幼稚園における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (H28年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	14	子ども未来課 中央図書館	○	園長先生の連絡会議にてブックリストを配布し、11園に案内をした。(未来) 公開羅針盤による関係各課への2・3歳、3・4歳、4・5歳リストの紹介及び利用促進、市直営以外の幼稚園等に郵送にてリスト紹介。(中図)	継続	既に作成したブックリストを更新していく。
2	園での読み聞かせに、カルタなどのことば遊びの要素を入れた取組を充実させ、ふれ合いの中で楽しい体験ができるように支援します。また、中央図書館からの団体貸出によって、読み聞かせに適した絵本を増やします。	14		△	モデル園として7園中3園に団体貸出を実施した。(中図)	継続	引き続き園と連携して団体貸出を実施していく。

5 学校における子どもの読書活動の推進

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	中央図書館から小中学校へ学校連携司書を派遣し、司書教諭と協働して学校図書館を活性化させ、利用を促します。学校連携司書の「1校につき1人の配置」を目指します。	15	教育総務課 中央図書館	○	学校連携司書と司書教諭の連携により、子どもの読書活動を推進することができた。(教育) 1人1校は達成していないが、複数校を担当し、全小中学校へ派遣した。(図)	廃止	現在の市の財政状況では「1校につき1人の配置」は難しい。現状(5人)を維持して実施していく。
2	学校連携司書が教職員と連携し、調べ学習のための本を中央図書館の蔵書から選定し提供することで、子どもの学習と教職員の授業を支援します。			○	学校連携司書の方から、子どもの発達段階に合わせた蔵書の提供があった。(教育) 学校連携司書と司書教諭の連携により、主に小学校であるが約900冊の調べ学習用の貸出があった。(図)	廃止	学校連携司書の選定協力により学校図書館の蔵書内容が充実し、調べ学習に対応できるようになった。今後は、補充する形で支援する。
3	学校連携司書が、読み聞かせやブックトーク*3などで、読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介し、さらに、学校のボランティアと協力し、朝読書や読み聞かせを実施し、学校図書館の貸出冊数の増加を図ります。	16	中央図書館	◎	司書教諭等とコミュニケーションを図り読み聞かせやブックトークなど定期的実施することができ、第1次計画の実施から中学校の学校図書館の貸出冊数の増加につながったと考えられる。	継続	今後も学校連携司書とボランティアが協力して読み聞かせを実施する等学校図書館の貸出冊数増加を図る。
4	学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。			◎	各校テーマ展示を実施し、本を借りるきっかけになっている。	継続	今後もニーズに応じたテーマ展示を行っていく。

第2次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

基本目標2:子どもの読書環境の整備・充実

【事業評価】		【事業方針】	
◎	計画どおり実施されている	継続	現行どおり、事業を継続する
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実	事業の充実、強化を図る
△	大幅に計画から遅れている	改善	事業の見直し、改善を図る
×	未実施	縮小	事業の規模を縮小する
		廃止	事業を廃止する

1 中央図書館のサービスの充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気的空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。		中央図書館	◎	基本目標1 1の2と同様	縮小	第2次でリストを作成し、目標達成したのでリストに掲載されている図書が絶版になっていないかの確認等、更新を行い、PRしていく。 (基本目標1 1の2と同様)
2	中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した書棚を作ります。			◎	Y・Aコーナーを設け、本を収集した。また、Y・Aの中でも「朝読書」「部活」「勉強」などに分類し、中高生が目的別に本を手に取りやすいよう工夫した。(R1年度年間貸出冊数5,575冊、R2年度4,525冊、R3年度6,272冊)	継続	今後も中高生のニーズをふまえて選書していく。
3	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。	17		○	図書館ホームページにて「テーマ別リスト」のページを設け、赤ちゃんや幼児等年齢に応じたおすすめ本のリストを見ることができる。	継続	今後おすすめリストの更新をしていく。
4	点字絵本やさわる絵本などを収集し、障がいを持つ子どもや保護者へ提供します。			◎	図書館HPIにて障害者向け図書の案内を掲載している。R4年3月31日時点で点字本74冊、さわる絵本20冊、布の絵本24冊、LLブック26冊を所蔵している。点字本は図書館ボランティアの長久手点字サークルの協力で随時所蔵を増やしている。	継続	今後も障がいのある方向けの本を選書・購入する。またボランティアと連携して、点字本の所蔵も増加させていく。
5	中央図書館からやや離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるために、団体貸出の拠点数を増やします。			△	団体登録の案内を実施したが、団体貸出の魅力、利点を伝える必要があった。	廃止	一定数の登録があったため、今後も随時受け付けていく。

2 児童館の読書環境の整備・充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	児童館に来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	18	子ども未来課 中央図書館	◎	ブックリストを設置し、来館者が偶に手に取っている。(未来、中図)	充実	現在のブックリストは2歳からなので、もし2歳未満でもお薦めできそうな本があるなら情報提供してほしい。(未来) 2・3歳3・4歳4・5歳まで作成できたのでPRしていく。(図)
2	児童館図書室の本の配置やレイアウトの調整、新規に購入する本や除籍本の選定に中央図書館が協力をします。また、司書が選定した本を中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、図書室の魅力を高めます。			◎	事業概要のとおり協力を得ている。(未来) 定期的の実施している。(中図)	縮小	全児童館の図書室のレイアウトを調整し、除籍本の選定が終了している。今後は団体貸出の実施内容について関係各課と相談の上実施する。

3 保育園・幼稚園の読書環境の整備・充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	園の図書コーナーを充実するため、年齢に応じたおすすめ本のブックリストの提供や読み聞かせに適した絵本や地域の民話などを中央図書館から紹介します。司書が図書コーナーづくりや絵本の選定に関するアドバイスをすることで、園の職員を支援します。	19	子ども未来課 中央図書館	△	ブックリストの準備は進めようとしたが、コロナ禍で、図書をさらに充実させた図書コーナーは実現できなかった。(未来) モデル園として7園中3園に団体貸出を実施した。(中図)	縮小	おすすめ本のリストを作成済みであるため、今後はリストのPRや内容の更新を行っていく。
2	中央図書館の団体貸出カードを発行し、全ての園で活用するよう周知し、団体貸出を促します。			○	団体貸出は1回につき30冊、30日間で実施している。	廃止	目標達成したため。

4 学校図書館と中央図書館の連携体制の強化・充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定に中央図書館が協力し、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりを支援、アドバイスします。	19	教育総務課 中央図書館	○	学校図書館の本の配置やレイアウトの調整など、環境整備を図ることができた。学校図書館が魅力的な居場所となった。(教育) 定期的を実施している。(図)	継続	今後も学校図書館の環境整備を行う。
2	中央図書館から学級文庫用として団体貸出(学校)をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。			○	中央図書館から学級文庫用として団体貸出が増え、子どもの読書環境が充実した。(教育) 定期的を実施している。(図)	廃止	目標を達成したため。
3	学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトーク*3などのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。	20	中央図書館	△	コロナにより行事が激減したが、対策をして実施した行事は、興味を持った家族の参加がある。	廃止	勤務体制が変わったため。
4	学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けおすすめする本をホームページで紹介します。学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。		教育総務課 中央図書館	○	学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書を行ったことで、子どもの読書活動が充実した。(教育) 計画的に実施している。(図)	廃止	勤務体制が変わったため。

第2次長久手市子ども読書活動推進計画 事業評価シート

基本目標3:子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

【事業評価】		【事業方針】	
◎	計画どおり実施されている	継続	現行どおり、事業を継続する
○	概ね計画どおりだが、一部未実施	充実	事業の充実、強化を図る
△	大幅に計画から遅れている	改善	事業の見直し、改善を図る
×	未実施	縮小	事業の規模を縮小する
		廃止	事業を廃止する

1 普及活動の充実

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。		中央図書館	◎	市内小学3年生に行う図書館見学にて、職員から読書手帳の案内をしている。	継続	今後もPRを行っていく。
2	「子ども読書の日*4」や「こどもの読書週間*5」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、参加者増加を目指します。			○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2・3年度は毎年4月に行われるいちにおはなし会を中止したが、状況を見てR3の10月と11月に読書週間にちなんだおはなし会を開催した。	充実	定期的なおはなし会に加えて新たに読書に関するイベント等を企画していく。
3	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。	21	教育総務課 子ども未来課 子ども家庭課 中央図書館		アンケート等への協力を通して、読書活動の周知も同時に図られた。 (未来) 読み聞かせや読書の日など読書に関する啓発物があった場合は、保護者の目に留まりやすい所に掲示やチラシの配架を行う。(図) 支援センターの読み聞かせは、感染予防対策のため未実施(家庭) 読書活動の取組事例を保護者へ広く周知する徹底が難しかった。(教育)	継続	今後も読書に関するポスターやチラシの掲示を行う。
4	中央図書館内外での読み聞かせイベントなどを通し、読書の大切さを広めるよう広報に努めます。	22	中央図書館	○	R3年度はおはなし会を7回開催した。また現在カウンターで配布しているブックスタートパックには赤ちゃん向けおすすめリストも同封しており、赤ちゃんからの読書の大切さを啓発している。	継続	今後もおはなし会の開催、ブックスタートパックの配布を通して乳幼児期からの読書の大切さを啓発していく。

2 各種情報の収集・提供

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。	22	中央図書館	◎	閲覧室等へ随時、子どもの読書に関わる情報を掲示した。	継続	今後も子どもの読書に関係する情報を館内に掲示する。

3 優れた取組の紹介

	事業概要(具体的な取組)	頁	担当課	事業評価 (R3年度末時点)	進捗状況・評価 (根拠となる数値等があれば具体的に記入してください)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、具体的な内容を記入)
1	図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいつくりにつなげます。	22	中央図書館	◎	図書館HP内にてボランティアグループの紹介文を掲載している。人数や活動日時に変更があった場合は随時更新を行っている。	継続	引き続きHPで活動の紹介を行っていく。